

英語科 中学校第2学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題	
4	Classroom English 英語を使ってみよう 辞典を読んでもみよう	ア.イ.ウ.エ	2	既習事項の確認と新たな表現の提示をもとに、進んで学習していくとする気持ちを高めさせる。未知の単語であっても自分の力で調べられる方法を学習させる。	中学校第1学年（既に授業で使用している表現を確認する。 Come to ～./Go back to ～.）	○辞典の使い方や内容について再度復習する。		■品詞の種類の確認 (名詞・動詞・形容詞・前置詞 副詞・冠詞・接続詞・助動詞 間投詞)	
	Program 1 Did You Enjoy Your Vacation? be 動詞の過去形 過去進行形	ア.イ.ウ.エ	6	be 動詞の過去形は初出であるが、一般動詞の過去形は既習であるので比較させながら、理解を深めさせる。	第1学年 (be 動詞の現在形) (現在進行形 (be +～ing))	○be 動詞の現在形と対比させることで過去形の表現の定着を図る。	時制を理解させるために、過去形から現在完了形へ至る指導を工夫し、系統的な文法指導を行う。		
	Writing 1 日記②	ウ.エ	2	段落構成を意識した書き方を学習させる。(はじめ・展開・まとめ)					
	英語のしくみ 1	ア.イ.ウ.エ	1	一般動詞と be 動詞をまとめて現在と過去を対比させる。					
5	Program 2 A Trip to Finland 未来を表す言い方 助動詞 will	ア.イ.ウ.エ	8 (+1)	現在形、過去形を既習しているので、時制の概念をまとめて学習させる。		○未来を表す言い方を提示し、時制についての理解を深めさせる。 動詞の原形という文法の提示と理解への指導を行う。		■ I am going to swim next Sunday.(すでに泳ぐ計画あり) ■ I will swim next Sunday. (その場で決めたこと)	
	Listening 1 天気予報	ア	1	助動詞を用い未来の天候を尋ね、答える表現を理解させる。					
	Speaking 1 電話①	イ	1			誘う表現を思い出させ、さらに異なる表現を提示する。		■ Let's ～. ■ Why don't you ～?	
6	Program 3 Charity Walk 助動詞 接続詞(that)	ア.イ.ウ.エ	8 (+1)	既習事項の can を想起させ、同じ用法の助動詞であることの定着を図る。	第1学年(助動詞 can)				
	Speaking 2 My Project 4	イ ア.イ.ウ.エ	1 3	対話をつなげる方法を学習させる。	第2学年(Speaking 1) 第1学年(My Project 1～3)	○依頼する表現を定着させる。		■ Shall we ～?	
7	英語のしくみ 2	ア.イ.ウ.エ	2		第2学年(英語のしくみ1)	○未来表現と義務などを表す表現(助動詞)、接続詞をまとめさせる。			
	Program 4 The Pillow Program 5 Gulliver's Travels There is(are) ～ 接続詞(when/if)	ア.イ.ウ.エ	5 8 (+1)	既習事項をもとに物語の内容理解を図らせる。 接続詞を用いて複文を構成する文の理解に努める。 語順に注意し、もの(人)のありか表現する言い方を学習させる。	第1学年(重文を用いた文 (and/but))	○省略できる接続詞 (that) が出てきても、主語と述語を手がかりに複文の内容を理解する手がかりを与える。	過去分詞を伴う修飾節への理解にも主語と述語に着目させた指導を継続する。	■ I think we need a parking area. (接続詞がなくても主語が複数あるので接続詞が省略されていることを理解できる。)	
8	Speaking 3 買い物②	イ	2	ものを注文する言い方を学び、買い物での表現を広げる。	第2学年(Speaking 1・2)				
	Program 6 A Work Experience Program	ア.イ.ウ.エ	8	行動の目的を表現させる言い方を学ばせ、表現を深めさせる。		○文全体からとらえた3つの不定詞の用法に着目させる。		■ I want to watch TV. ■ I go to school to study.	
9	Listening 2 ALT へのインタビュー	ア.イ	1		第2学年(Listening 1)				

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
9	Writing 2 ホストファミ リへのメール	ウ.エ	2	Writing 1 からさらに発展して、自分が伝えたいことをマッピング化して考えを整理する方法を学ばせる。	第2学年(Writing 1)			
	Program 7 If You Wish to See a Chance 動名詞 look+形容詞	ア.イ.ウ.エ	8 (+1)	不定詞を用いなくて「～すること」という「表現を理解させるとともに、目的語を複数とする述語に着目し、語順に注意して理解させる。	第2学年 (目的語が1つの述語の文 不定詞の名詞的用法) (Program 6)	○動詞が名詞化することで表現を広げることができる手がかりを与える。		■I like playing tennis. ① I swim. ② I eat an apple. ③ I give you an apple.
10	Speaking 4 道案内①	イ	2	道順を聞くときの表現ができるようにする。	第2学年 (Speaking 1～3)			
	Challenge 1 英語で理科	イ.ウ	2	内容を読み取ることができるようにさせる。				
	My Project 5	ア.イ.ウ.エ	3	自分の将来の夢について段落構成を意識して表現させる。	第1・2学年(My Project 1～4)			■①ははじめに→②展開→③結びの流れで表現する。
11	英語のしくみ3	ア.イ.ウ.エ	1					
	Program 8 A Shelter for Pet Animals	ア.イ.ウ.エ	4	既習事項をもとに物語の内容理解を図らせる。				
	Program 9 A Priest in a Mask 比較級・最上級 (形容詞・副詞)	ア.イ.ウ.エ	7 (+1)	副詞を伴う文や形容詞述語は、他と比較したり、一番～であるという場合、形が変化することを理解させる		○形容詞(副詞)の原級という概念の提示と理解への指導を行う。日本語での表現との違いに気付かせるように指導する。		■I am tall. I am taller than Mike. I am the tallest of all. I am as tall as you.
12	Challenge 2 英語で数学	イ.ウ	1	内容を読み取ることができるようにさせる。	第2学年(Challenge 1)			
	Speaking 5 買い物③	イ	1	自分がほしい商品を買うことができるために必要な言い方を学び、買い物での表現を広げる。	第2学年 (Speaking 3)			
	Program 10 So Many Countries, So Many Customs.	ア.イ.ウ.エ	7	比較級や最上級の異なる表現を提示し、比較表現についてまとめ、学習させる。	第2学年 (Program 9)			■I like summer well. I like summer better than ～. I like summer the best.
	Writing 3 自分の考えをまとめる	ウ.エ	2	あるテーマについて効果的に自分の考えを伝えるための手段を学ばせ、表現させる。	第2学年(Writing 1・2)			
	Program 11 Yui・ To share Is to Love	ア.イ.ウ.エ	7 (+1)	動詞の新たな形(過去分詞)の提示と、受け身を表す文の用法について理解を深めさせる。			過去分詞を伴う後置修飾の理解の足がかりとなる。	
1	Listening 3 旅行ガイドの説明	ア.イ.	1		第2学年(Listening 1・2)			
	My Project 6	ア.イ.ウ.エ	2	あるテーマについて賛成や反対意見を述べる表現を学ばせる。	第1・2学年(My Project 1～5)			■I agree./ I disagree.

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
1	英語のしくみ4	ア.イ.ウ.エ	1		第2学年(英語のしくみ3 比較級・最上級)			
	Program 12 Her Dream Came True.	ア.イ.ウ.エ	4	既習事項をもとに物語の内容理解を図らせる。				
	Review Reading ①～④	ア.イ.ウ.エ	6	4つの読み物の内容読解を図りながら、既習の文法を再度復習し、文法事項の定着を図らせる。	第1・2学年 (これまでの既習事項全般)			
2	Extensive Reading	ア.イ.ウ.エ	2	自分の力で本文内容を読み解こうとする気持ちを高めさせる。	第1・2学年 (これまでの既習事項全般)			
	主語と述語について	ア.イ.ウ.エ	5 (+1)	今までの文法事項を体系的に理解させることで、それぞれの項目が結びついていることをつかませる。	第1学年(1年で学習した文法事項全般 文法事項の説明から練習問題に取り組みせる。)	○文中の主語と述語をつかませるための具体的な手立てとしていくつかの種類と形を提示し、指導する。		■Mike is a student. ■He plays baseball. ■He is very kind.
3	文の二次的成分について	ア.イ.ウ.エ	5 (+1)	「主語と述語」の学習を手がかりにさらに複雑な文について理解を深めさせる。	第1・2学年(1年から2年にわたる文法事項全般 文法事項の説明から練習問題に取り組みせる。)	○「主語と述語」以外の文の成分について焦点をあて、複雑な文に対しても内容を捉えられるように文法指導を体系的に進める。		■Mike buys a cup at the store.
	合計		140					